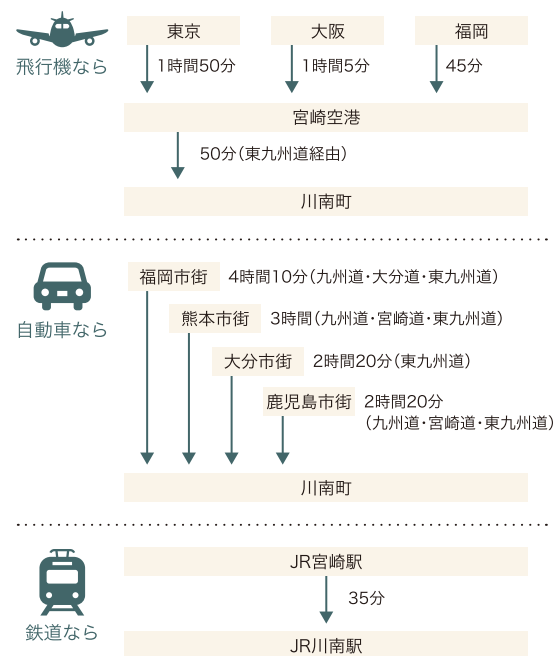




アクセス to 川南



川南町新規就農者支援協議会

(事務局: 川南町役場 産業推進課 農政園芸係)

〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
 TEL 0983-27-8011 FAX 0983-27-7558



川南町就農支援ガイド
 宮崎県川南町

川南町で 農業始めませんか

川南町では農業研修生を募集しています。研修で生産するのは町オリジナルの『さららピーマン』。通常のピーマンのような苦みがほとんどないため、小さな子どもや苦手な人でも食べられることから首都圏などを中心に人気を集めています。

専門指導者による2年間の座学研修と実践研修で農業経営に必要な知識と技術を修得。研修後は川南町やJAなど関係機関が就農と定住を支援していきます。



KAWAMINAMI TOWN

農業パイオニアのまち

宮崎県中部に位置し、雄大な尾鈴山と日向灘にはさまれるように果てしない大地を有する川南町。温暖な気候は農業に最適で、野菜や花、茶、畜産など県内有数の生産高を誇ります。また、農業に夢を描いた先人たちによる開拓の町としても知られ、『日本三大開拓地』の一つに数えられています。

なぜ「さららピーマン」なのか



- **経営が安定している** ※下記経営指標参照
 - ①契約栽培により価格が安定、農業収入が450万円/10aが可能
 - ②ハウス栽培により、天候に左右されにくい。
 - ③消費者からの評価が高く、今後の需要拡大が見込める。

● 充実した研修施設（トレーニングハウス）

- ①規格：中期展張ハウス 30a
- ②附帯設備：自動開閉機、加温機、環境制御システム外
- ③管理運営主体：株式会社アグリトピアおすず

● 研修後の独立を後押し

- ①JA尾鈴ピーマン部会員の積極的な指導
- ②JA・県・町の関係機関による巡回指導
- ③JA等によるハウスのリース事業や融資が利用可能

「さららピーマン」って？

さららピーマンとは、通常のピーマンよりも苦みが少なく、小さな子供や苦手な人でも食べやすい人気があるピーマンです。また、農林水産省の特別栽培農産物の認定を受けている品目なので、地域の慣行レベルに比べて使用農薬が50%以下となっています。



20aで / 売上げ目標 **1,000万円!**

■JA尾鈴さららピーマン 10a当たり経営指標

収入		経費	
・10a当たり販売量	13,000kg	・種苗費	125,000円
・経営面積	10a	・肥料費	240,000円
・販売量合計	13,000kg	・農薬費	150,000円
・単価	350円	・諸材料費	550,000円
・売上高	4,550,000円	・動力光熱費	1,050,000円
・雑収入	0円	・小農具費	15,000円
・収入合計	4,550,000円	・荷造運賃手数料	0円
所得		・修繕費	60,000円
・所得	2,320,000円	・その他経費	40,000円
・所得率	51%	・経費合計	2,230,000円

※ハウス施設、農業用機械を除く

■作付体系図

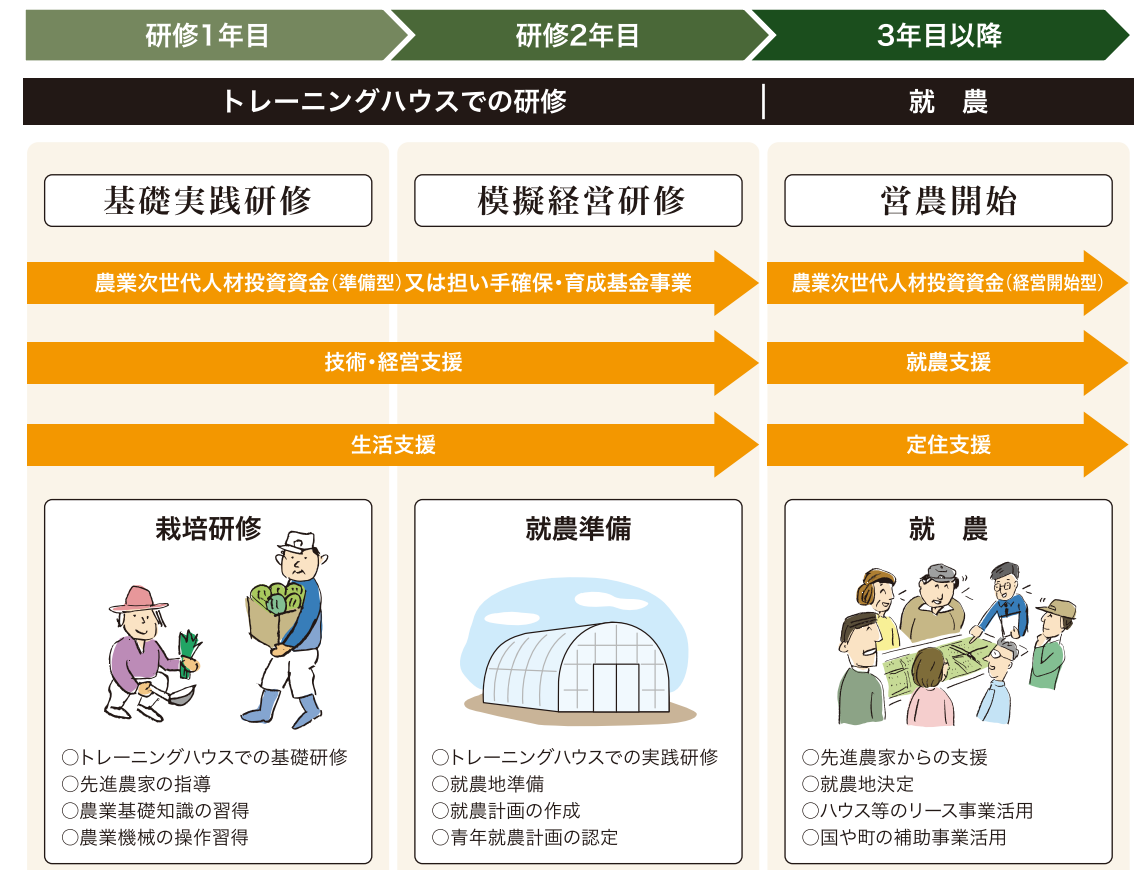
面積単位	作物名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10a	促成ピーマン	■	■	■	■	■	■		○	◎	■	■	■

※図示法…播種=○、定植=◎、生育期間=—、収穫期間=■

募集要領

募集人員	農業研修生若干名
研修期間	2年間
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ○農業に対する強い意欲のある新規就農希望者で、アグリトピアおすずが管理運営するトレーニングハウスで、2年間継続して研修を受ける者 ○川南町民である者又は川南町に移住し、研修終了後は川南町内に就農、定住する者 ○心身共に健康であること。 ○18歳以上で夫婦の場合は45歳以下、単身の場合は35歳以下の者
研修開始	毎年7月から
研修作物	さららピーマン（農林水産省特別栽培認定）
募集期間	毎年12月から1月を予定
受入決定	<ul style="list-style-type: none"> ○選考方法：書類選考、面接により研修生を決定いたします。 ○面接日：第1次…2月上旬 第2次…随時 ※第2次は第1次で定員を満たした場合には実施しません。 ○研修生の受入決定の可否については郵送で通知いたします。

就農までのスキーム



- ◆ 座学研修では、農業基礎、経営能力の習得をはじめ、実践的な研修を受けることができます。
- ◆ 栽培研修では、ピーマンに特化した高度な専門技術を身に付けることができます。
- ◆ 先進技術研修、先進地視察研修などを通してネットワークづくりが可能です。

研修内容		回数	時間	担当者
農業経営講座	入門編	2	3	児湯農業改良普及センター
	基礎編			
栽培技術基礎講座	農業	8	15	児湯農業改良普及センター
	病害虫診断・防除			
	土壌肥料			
	農業と気象			
	植物生理			
	栽培暦			
土づくり				
農業機械講座	農作業安全	2	6	児湯農業改良普及センター
	農業機械の取扱い			アグリトピアおすず
就農支援制度・各種法律講座	農業次世代人材投資事業	8	9	川南町役場
	青年等就農計画認定制度			JA尾鈴
	危機管理・GAP研修			川南町役場
	融資制度			NOSAI宮崎県児湯センター
	農地法・農業者年金			川南町役場、児湯農業改良普及センター
	農業共済制度			
農業一般講座	青色申告	4	6	JA尾鈴
	所得税			
	簿記記帳研修			
	販売・マーケティング研修			
栽培技術向上研修	栽培講習会	12	27	JA尾鈴ピーマン部会
	全体研修会			
	目揃え会			
	研修先巡回			
	土壌肥料・施肥設計			JA尾鈴
座学研修			66	
実践栽培研修			約300日	アグリトピアおすず・専属講師

01 研修期間中の支援

- ①農業次世代人材投資資金(準備型)(国)** ※制度が変更になる場合があります。
研修期間中、農業技術や経営ノウハウの習得に対し、最長2年間150万円を交付します。
(就農時の年齢が、50歳未満に限る。)
- ②新規就農生活支援助成金(町)**
研修生への生活支援として①の要件を満たし、住宅を購入又は民間賃貸住宅に居住した場合、最長2年間月額5万円を交付します。(夫婦ともに研修生の場合は月額7万5千円)
- ③普及センターやJA職員による技術指導支援**
研修期間中は、指導員による栽培技術指導、児湯農業改良普及センターやJA尾鈴による経営指導を受けることができます。
※就農後も、引き続き関係機関による巡回指導を実施します。

02 農業を始める時の支援

- ①農業次世代人材投資資金(経営開始型)(国)** ※制度が変更になる場合があります。
就農初期段階の青年就農者に対し、最長5年間最大150万円を交付します。
- ②農地ハウス取得への支援**
ハウスのリースや新設、中古ハウスの取得に対して支援します。
- ③先進農家による助言・指導**
就農後もピーマン部会や先進農家らの助言・指導を受けることができ、困ったときの手助けとなります。

03 定住支援

- ①県外からの移住者支援補助金**
県外から川南町に移住し、住宅を購入又は民間賃貸住宅に居住した人に最大15万円を補助します。
- ②子育て支援**
【医療費助成】1診療につき末就学児は300円/月
18歳以下であれば1,000円/月で治療が受けられます。
【保育料軽減】保育料を国の基準額の5割程度まで引き下げています。
【高校生の就学支援】高校生1人につき、5,000円/月の就学支援金を支給します(3年間)
- ③住居を探す活動を支援**
川南町の生活を体験したい人や移住を考え住居を探す活動を支援します。
【お試し滞在施設】1日あたり500円で利用できます。
【お試し滞在助成金】民間宿泊施設を利用した場合、1泊あたり最大4,500円を助成します。
- ④持家取得助成**
平成31年4月1日以降に住宅を取得した方に、ご夫婦(ひとり親も対象)の合計年齢によって以下の助成金を交付します。
合計100歳以下…50万円 合計80歳以下…60万円
合計70歳以下…70万円 合計60歳以下…100万円

川南町で夫婦二人 理想としていた暮らしを実現

宮崎出身の佐師輝洋さん・香恋さん夫婦。2021年に東京からUターンし、
今は第4期の農業研修生としてピーマンづくりを勉強中です。



佐師輝洋さん
(31)

佐師香恋さん
(32)

IT企業からピーマン農家へ。

農業経験がなくても、周りと一緒に楽しく学んでいます。

宮崎に戻り、 夫婦二人でできる仕事がしたい

宮崎市出身の佐師夫妻は、東京で勤務していた頃は朝早くから夜遅くまでお互い忙しい日々を過ごし、顔を合わせるのには夕食時の1時間ほどしかなかったといいます。仕事柄、転勤があったため、家や子どもなどの将来設計ができないと悩んでいた二人は、以前から抱いていた「いつか宮崎に帰りたい」という気持ちもあり、宮崎に戻ることを決めます。

「これまではお互い時間が合わず、夫婦で何かをすることができなかったため、二人で一緒にできる仕事をしたい」と輝洋さん。二人ともものづくりや自営に憧れていたこともあり、その二つを実現できる農業を始めることを決めました。

決め手は充実した支援と 親切的サポート

「夫婦で農業研修ができる市町村を探して窓口で相談したり、東京で就農フェア説明会に参加したりしたのですが、どこも育てる作物や募集の条件が厳しくて苦戦しました」と香恋さん。条件が合う就農先が見つからず落ちこんでいた末にたどり着いたのが川南合衆国のHPでした。そこで見た、研修制度の丁寧かつ親切的サポートや支援の充実さが川南町を選んだ決め手だったと二人は声を合わせます。

不安なく研修に集中できる

2021年7月から始まった研修は、土づくりや定植、機械の操作など農業の基礎について実践を踏まえながらピーマンづくりを学んでいきます。

現在はトレーニングハウスでピーマンを栽培しており、農業の経験がなく不安もあった二人ですが、部会や先進

農家の丁寧な指導のおかげで安心して研修を受けられているといいます。

「本来であれば、就農に必要な手続きや独立後のハウスの土地探しなど、自分たちでやらなければいけない事を町役場の方が支援してくださるので、集中して研修に取り組むことができます」と輝洋さんは話します。



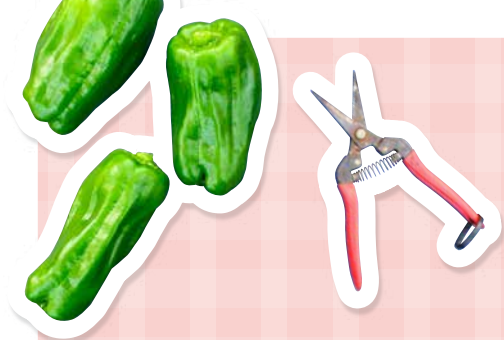
トレーニングハウスで楽しそうに収穫する佐師夫妻

今後の就農に胸を膨らませる

「他の研修生も私たちと同様、夫婦で年齢も近いので、農業の相談や意見交換だけでなく世間話やプライベートな悩み相談もしたりしています。仕事仲間というより友だちのような感覚で、毎日楽しく研修をやっています」と笑顔の二人。

農業には正解がなく、同じ作物でも日々試行錯誤しながら、自分たちのやり方を探求するのだそうですが、4期生みんなで助け合いながら自分たちの農業スタイルを見つけたいのが楽しみだと、輝洋さんは話します。

「移住してまだ1年もたっていないけど、私たち二人ともすでに川南町で一生暮らしていけるなというイメージができています。営農が始まったら、憧れだった家や子どものことなどの将来設計も立てていきたいですね」と話す二人。川南町での農家暮らしに、希望で胸を膨らませています。



ストレートにお聞きしますが、夫婦二人で就農することへの不安はなかったのですか？

当初は僕だけが農業をして、奥さんは保険的な感じで働く計画でした。でも、川南町のパンフレットで知った夫婦二人で就農したときの稼ぎが十分に食べていける額だったんです。町の担当者の方や一期生に聞いても二人での就農を後押しされて。

一年を通してみると一人で足りる時季もあるし二人じゃないと追いつかない時季もあります。そういったときに融通を利かされるのが夫婦で農業をする大きなメリットだと思います。

うちも当初は私だけが農業をしようと考えていたんですが担当者の方から「やるなら夫婦でやった方がいいよ」とアドバイスされました。他の自治体では「どちらかが別の仕事をして保険を掛けておいた方がいいよ」と、逆のことを言われることが多かったのでどうしようか迷ったのですが信じてやってみよう。

子どもが二人いて農業で生計が成り立つのかという不安があったので、私たちも私が研修を受けて、主人は大阪に残って仕事をしつつというやり方を考えていました。ところが、担当者の方に「絶対に夫婦でやった方がいい」と強くおすすめされて、それならばと。

みなさん最初はどちらかで別収入をと考えられていたんですね。

町の担当者さんは「夫婦でされた方がいい」と強くおされたということですが、その理由は？

[担当者] 家族で生活することを考えると収入面から面積を20aはやった方がいいんです。そうなると一人では手がまわらなくなってしまうんです。子どもがいっしょやる家庭でも20aあれば大丈夫。だから夫婦での就農を勧めています。

子育てのことを考えても夫婦で農業をしていけば

思うことはありますけど逆はありませんよ。

笈田さんご夫妻には子どもがいっしょいますが、子どもたちはいかがですか？

まわりの子どもたちがびっくりするくらいフレンドリーでやさしいんです。困っていたら声を掛けてくれたり教えてくれたりしているようで、うちの子も機嫌よく学校に通ってますよ。

夫婦で就農ってどう!?

夫婦二人で就農ってどうなの？収入が別にあった方が安心なんじゃない？そんな不安を抱えているあなたに、実際に夫婦で研修を受けている3組に話を聞きました。

どちらかが融通を効かせられます。私たち移住者は面倒を見てくれる親がそばにいるわけではないのでそこはすごく大きいと思います。サラリーマンだとなかなかそうはいきませんから。

川南での生活はいかがですか？

ちょうどいい住み心地です。海がすぐで、山も川もある。買い物も町内でほぼ済ませられますしね。宮崎市内までも車で1時間ほどなので不便はないですよ。

普通に生活していく上ではなんの不便もありません。街灯がもうちょっとあるといいかなくらいで(笑)

川南に来てよかったなど



笈田 貴之さん(52)&理恵さん(47)
研修4期生。大好きな宮崎に住みたいと中3の息子、小6の娘と家族4人で大阪から移住。



佐師 輝洋さん(31)&香恋さん(32)
研修4期生。宮崎市出身のお二人。農業をするために東京からUターン。



箕浦 和広さん(28)&菜里さん(31)
研修3期生。サーフィンを楽める場所での農業をしたいと関西から移住。

休日はどんな風に過ごされているのですか？

みんなで集まって食事したり。研修生同士仲がいいんですよ。私以外は筋金入りのサーファーなんですけど、サーフィンを教えてもらって一緒に楽しんでいます。

みんな移住者という同じ境遇ですからね。これから就農してもずっと支え合っていきたいです。

夫婦でずっと一緒にいて、同じ仕事をされているわけですが、そのあたりはぶっちゃけいかがですか？

僕はずっと一緒にいられるのがうれしいですね。今まで仕事を一緒にすることがなかったのでもって新鮮です。

照れてる、照れてる!

(笑)二人で協力し合っている安心感があります

ね。いてくれるからできるっていうところがあります。

俺もやで!

(笑)あいかかわらずラブラブで!

共通の話題がほとんどなので毎日が濃くて充実しています。なんでもかんでも一緒なので上手く家事も分担できますし、将来についてもお互いに同じ絵をイメージできるので話も盛り上がります。

去年は車が1台しかなかったんですが今年は2台になったことで一人だけの時間が確保されるようになりました(笑)サーフィンに行くときもこれまでは「行くで」だったけど一人でさっと行けるようになった。車は大事です!

最後に今後の目標を教えてください。

まずは研修でしっかり学んで食べていけるようになること。それと一軒家が欲しいですね。

ピーマンに追われっぱなしにならないよう、ライフワークバランスを保った暮らしをしていきたいと思っています。夫婦で就農すれば自分たちでメリハリをつけられるのでそこはやりやすいと思います。

やっぱり家が欲しいですね。子どもたちに“実家”をつくってあげたいんです。将来、宮崎から出て行ったとしても帰ってこられる場所を。長男は高校になったらピーマンを手伝ってバイトするって言ってくれているんですけどそんないい時間を過ごせる日がくるのが楽しみです。

